

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ミス・パリエステティック専門学校
設置者名	学校法人 ミス・パリ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
エステティック専門課程	トータルビューティ学科 (2年制)	夜・通信	360 時間	80×2=160 時間	
	エステティックマスター学科 (1年制)	夜・通信	90 時間	80×1=80 時間	
	スパ・セラピスト学科 (1年制)	夜・通信	210 時間	80×1=80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.miss-paris.ac.jp/curriculum/">https://www.miss-paris.ac.jp/curriculum/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ミス・パリエステティック専門学校
設置者名	学校法人 ミス・パリ学園

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

[https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/info/uploads/about\\_school.pdf](https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/info/uploads/about_school.pdf)

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
山田 庸男 非常勤	弁護士	2020年4月1日～ 2022年3月31日	法的確認と アドバイス
坪井 一字 非常勤	元大学教授	2020年4月1日～ 2022年3月31日	元大学教授の観点 から教育内容の確 認とアドバイス
小山 節司 非常勤	会社役員	2020年4月1日～ 2022年3月31日	経営的観点からの アドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ミス・パリエステティック専門学校
設置者名	学校法人 ミス・パリ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】</p> <p>各学科・各授業科目について毎年度末に学科内会議にて、授業科目の設定及び講義内容についての検討・検証を各種アンケート分析結果に基づき協議し作成を行っている。</p> <p>《検討・検証の機会》</p> <p><b>学校会議</b> (3月、6月、9月、12月に開催)</p> <p>姉妹校幹部が集まり、理事長及び総務・広報部長と共に学校運営の振り返りと今後の検証を行うもの</p> <p><b>教育課程編成委員会</b> (学科別3月、8月に開催)</p> <p>専門分野に関する動向や、新たに必要とされる知識、技術及び技能など十分に把握、分析した上で、該当課程の教育を施すにふさわしい授業科目の開設や授業方法の改善、工夫を行うなど、企業その他関係機関等の要請に応じた実践的かつ専門的な職業教育が実施されるための教育課程の編成を目的とする委員会。</p> <p>学内教員向け内規にて、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全校全科目共通で記載する事が必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を1月に行っている。</p> <p>【作成時期について】</p> <p>翌年度の授業計画は1月までに担当教員が作成し、3月の学校会議・理事会での議案で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。3月中に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>全教科のシラバスに関しては、学校で保管・管理をしており、必要に応じて一般公開をしている。</p> <p>希望がある場合にはメールおよび郵送にて対応可。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験（レポート含む）により成績評価を行っている。

(参考)

学生の手引き

**6** ③ 進級・卒業

授業への出席率が、トータルビューティ学科・エステティックマスター学科ともに90%以上（履修）、且つ前期・後期試験で合格した者に当該科目の単位取得を認める（修得）。

前期・後期における「全科目の履修と修得」を、進級・卒業の認定条件とする。

(1) 授業出席と未履修者の補講

各授業の出席率は90%以上でなければならない（履修条件）。

また、出席率が満たない者（未履修者）は補講申請を行わなければならない。

\*補講申請 → 審査・承認 → 学校が定めた期間の補講（不足授業時間の補完）

補講を完了した者は追試験の受験ができる。補講は当該年度内の実施とする。

不足授業時間数を補いきれない場合は、再履修となり進級・卒業は延期される。

補講料金は別途徴収する。

**3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。**

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学則の細目にて、授業科目の成績評価は、学年末、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況を総合的に勘案して行っている。

当校では、進級時特待生、学業優秀者等の表彰候補者選出などに活用している。

学業成績の評価は A、B、C、D、E を以って示し、A、B、C、D を合格、E を不合格とする。

当校では各授業の評価は100点満点を基準として、70点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100～90点を「A」、89～80点を「B」、79～70点を「C」、追試合格を「D」、不合格を「E」として、成績が通知される。成績の分布は履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100点満点で点数化）

成績評価方法については、HPで公開するほか、学校で管理・保管をし、入学時オリエンテーションで入学生とその保護者に通知している。

○2019年度

客観的な指標の算出方法

履修科目の成績評価を点数値で分布し、全科目の合計点の平均を算出する  
(100点満点で点数化)

学科名	トータルビューティ	学年	1	学生数	87
-----	-----------	----	---	-----	----

成績の分布

指標の数値	～50点	51～60点	61～70点	71～80点	81～90点	91～100点
人数	1	1	0	12	53	20

下位1/4に該当する人数 21人

下位1/4に該当する指標の数値 83点以下

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

<https://www.miss-paris.ac.jp/curriculum/pdf/grades.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

ミス・パリ エステティック専門学校は、教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナル」を基に、エステティシャン・美容部員・ネイリスト等の一流の技術と一流の接客を主とする職業専門家を育成し、その意義をもって社会に貢献する事を目的としている。

課程修了の認定、卒業は授業科目における所定の課程の成績評価に基づいて課程修了の認定を行う。また、学則に基づき修業年限在学し、出席率が90%以上、且つ前期・後期の年2回の定期試験合格(70点以上)したものに単位を授与し、必要単位を取得した者に卒業を認める。ただし、実習・実技等については進級時並びに卒業時に技術認定試験を行う。

卒業時の技術認定試験では、教育理念に基づき、一流の技術・接客ができる人材に成長していることが合格の条件となる。

具体的には、卒業後即戦力として活躍できる人材であることが必須であるため、卒業認定試験では「モデルに合わせた施術内容を自ら選択し、安全で効果的な技術を提供できること」「プロとしての接客ができること」を合格の基準として設けている。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<https://www.miss-paris.ac.jp/curriculum/pdf/policy.pdf>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ミス・パリエステティック専門学校
設置者名	ミス・パリ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/info/">https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/info/</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		エステティック 専門課程	トータルビューティ 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,085 単位時間/単位	1035 単位時間/ 単位	180 単位時間/ 単位	870 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人	189人	0人	10人	16人	26人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>理論（一般科目）、理論（専門科目）、実技理論、技術の4種類に分け前期、後期で授業を実施。</p> <p>専門分野に関する動向や、新たに必要とされる知識、技術及び技能など十分に把握、分析した上で、該当課程の教育を施すにふさわしい授業科目の開設や授業方法の改善、工夫を行うなど、企業その他関係機関等の要請に応じた実践的かつ専門的な職業教育が実施されるための教育課程の編成を行っている。</p> <p>学内教員向け内規にて、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画（各回の授業プラン）、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全校全科目共通で記載する事が必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学業成績の評価は A、B、C、D、E を以って示し、A、B、C、D を合格、E を不合格とする。</p> <p>当校では各授業の評価を100点満点を基準として、70点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100～90点を「A」、89～80点を「B」、79～</p>

<p>70点を「C」、追試合格を「D」、不合格を「E」として、成績が通知される。成績の分布は履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100点満点で点数化）</p> <p>成績評価方法については、HPで公開するほか、学校で管理・保管をし、入学時オリエンテーションで入学生とその保護者に通知している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>課程修了の認定、進級、卒業は授業科目における所定の課程の成績評価に基づいて課程修了の認定を行う。また、学則に基づき修業年限在学し、出席率が90%以上、且つ前期・後期の年2回の定期試験合格（70点以上）したものに単位を授与し、必要単位を取得した者に進級、卒業を認める。ただし、実習・実技等については進級時並びに卒業時に技術認定試験を行う。</p> <p>卒業時の技術認定試験では、教育理念に基づき、一流の技術・接客ができる人材に成長していることが合格の条件となる。</p> <p>具体的には、卒業後即戦力として活躍できる人材であることが必須であるため、卒業認定試験では「モデルに合わせた施術内容を自ら選択し、安全で効果的な技術を提供できること」「プロとしての接客ができること」を合格の基準として設けている。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）定期試験前に小テストを3回実施し、各学生の習熟レベルをセルフチェックできる様にしている。資格試験前に模擬試験を3回以上実施、授業時間外にも対策講座（任意）を行っている。また、担任教員による定期面談、随時面談を実施することにより、授業、就職、友人関係等の不安を取り除き、学習に集中できる体制を整えている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
85人 (100%)	6人 ( 7.1%)	79人 ( 92.9 %)	0人 ( 0 %)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>エステ企業（ミスパリグループ、FAVORIX GROUP、バイオテクノロジービューティー、オリエンタル・スタイル、エストロワ、ピュア、グローバ株式会社、銀座グラティア） 美容企業（KOSE、ナイスネイル）など、美容関連企業</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリア教育、合同企業説明会、サロン見学、卒業生講話、個人面談、マナー講座、履歴書添削、面接練習等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>サービスマナー検定、色彩技能パーソナルカラー検定、ネイリスト技能検定、JNA ジェルネイル技能検定、IPSN ジュニアビューティシアン、認定エステティシアン、美容脱毛士、美容ライト脱毛エステティシアン、ダイエットプロフェッショナル、スパ・セラピスト、アロマセラピー検定、ビューティセラピスト、ビューティアドバイザー</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
192 人	17 人	8.8%
(中途退学の主な理由) 学業不振、学校生活不適応、進路変更、病気・けが、経済的理由、家庭の事情等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談・生活指導。授業時数不足または成績不良者には補習・追試験の実施。 状況に応じ、保護者との三者面談を実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		エステティック 専門課程	エステティック マスター学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1020 単位時間/単位	390 単 位時間/ 単位	単位時間/ 単位	120 単 位時間/ 単位	510 単 位時間/ 単位	
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		0 人	0 人	1 人	0 人	1 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 理論 (一般科目)、理論 (専門科目)、実技理論、技術の 4 種類に分け前期、後期で授業を実施。 専門分野に関する動向や、新たに必要とされる知識、技術及び技能など十分に把握、分析した上で、該当課程の教育を施すにふさわしい授業科目の開設や授業方法の改善、工夫を行うなど、企業その他関係機関等の要請に応じた実践的かつ専門的な職業教育が実施されるための教育課程の編成を行っている。 学内教員向け内規にて、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画 (各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全校全科目共通で記載する事が必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 学業成績の評価は A、B、C、D、E を以って示し、A、B、C、D を合格、E を不合格とする。 当校では各授業の評価を 100 点満点を基準として、70 点以上を合格としている。 合格者の中でも、評価点数により 100~90 点を「A」、89~80 点を「B」、79~70 点を「C」、追試合格を「D」、不合格を「E」として、成績が通知される。成績の分布は履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する (100 点満点で点数化) 成績評価方法については、HP で公開するほか、学校で管理・保管をし、入学時オリ



エンターションで入学生とその保護者に通知している。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>課程修了の認定、卒業は授業科目における所定の課程の成績評価に基づいて課程修了の認定を行う。また、学則に基づき修業年限在学し、出席率が90%以上、且つ前期・後期の年2回の定期試験合格(70点以上)したものに単位を授与し、必要単位を取得した者に卒業を認める。ただし、実習・実技等については進級時並びに卒業時に技術認定試験を行う。</p> <p>卒業時の技術認定試験では、教育理念に基づき、一流の技術・接客ができる人材に成長していることが合格の条件となる。</p> <p>具体的には、卒業後即戦力として活躍できる人材であることが必須であるため、卒業認定試験では「モデルに合わせた施術内容を自ら選択し、安全で効果的な技術を提供できること」「プロとしての接客ができること」を合格の基準として設けている。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>定期試験前に小テストを3回実施し、各学生の習熟レベルをセルフチェックできる様になっている。資格試験前に模擬試験を3回以上実施、授業時間外にも対策講座(任意)を行っている。また、担任教員による定期面談、随時面談を実施することにより、授業、就職、友人関係等の不安を取り除き、学習に集中できる体制を整えている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) 前年度在籍者なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養	エステティック 専門課程	スパ・セラピスト 学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1年	昼	1260 単位時間 / 単位	540 単位時間 / 単位	720 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
		単位時間 / 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人	0人	0人	0人	0人	0人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>理論 (一般科目)、理論 (専門科目)、実技理論、技術の 4 種類に分け前期、後期で授業を実施。</p> <p>専門分野に関する動向や、新たに必要とされる知識、技術及び技能など十分に把握、分析した上で、該当課程の教育を施すにふさわしい授業科目の開設や授業方法の改善、工夫を行うなど、企業その他関係機関等の要請に応じた実践的かつ専門的な職業教育が実施されるための教育課程の編成を行っている。</p> <p>学内教員向け内規にて、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画 (各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全校全科目共通で記載する事が必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を 1 月に行っている。</p> <p>3 月の学校会議にて承認され、式決定となる。</p>
成績評価の基準・方法

(概要)  
 学業成績の評価は A、B、C、D、E を以って示し、A、B、C、D を合格、E を不合格とする。  
 当校では各授業の評価を 100 点満点を基準として、70 点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により 100～90 点を「A」、89～80 点を「B」、79～70 点を「C」、追試合格を「D」、不合格を「E」として、成績が通知される。成績の分布は履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する (100 点満点で点数化)  
 成績評価方法については、HP で公開するほか、学校で管理・保管をし、入学時オリエンテーションで入学生とその保護者に通知している。

卒業・進級の認定基準

(概要)  
 課程修了の認定、進級、卒業は授業科目における所定の課程の成績評価に基づいて課程修了の認定を行う。また、学則に基づき修業年限在学し、出席率が 90%以上、且つ前期・後期の年 2 回の定期試験合格 (70 点以上) したものに単位を授与し、必要単位を取得した者に進級、卒業を認める。ただし、実習・実技等については進級時並びに卒業時に技術認定試験を行う。

卒業時の技術認定試験では、教育理念に基づき、一流の技術・接客ができる人材に成長していることが合格の条件となる。

具体的には、卒業後即戦力として活躍できる人材であることが必須であるため、卒業認定試験では「モデルに合わせた施術内容を自ら選択し、安全で効果的な技術を提供できること」「プロとしての接客ができること」を合格の基準として設けている。

学修支援等

(概要)  
 定期試験前に小テストを 3 回実施し、各学生の習熟レベルをセルフチェックできるようにしている。資格試験前に模擬試験を 3 回以上実施、授業時間外にも対策講座 (任意) を行っている。また、担任教員による定期面談、随時面談を実施することにより、授業、就職、友人関係等の不安を取り除き、学習に集中できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 ( 0%)	0 人 ( 0%)	0 人 ( 0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果 (資格・検定等) )			
(備考) (任意記載事項)			
前年度在籍者なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
トータル ビューティ学科 昼間部 (2年制)	100,000円	380,000円	680,000円	その他：実習費、施設設備費 教材費：280,000円
エステティック マスター学科 昼間部 (1年制)	200,000円	1150,000円	300,000円	教材費：50,000円
スパ・セラピスト 学科 昼間部 (1年制)	100,000円	490,000円	800,000円	その他：実習費、施設設備費 教材費：310,000円
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
特待生制度、皆勤減免制度、家族入学制度				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/info/">https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/info/</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関係企業などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。 評価内容については理事会、職員会、各科教科会などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
平山 浩篤 株式会社シェイプアップハウス 取締役	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	企業
杉原 昭二 株式会社ミス・パリ 総務部部长	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	企業
田邊 秀子 NPO法人日本スパ・ウェルネス協会 教育委員長	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	企業
柴田 裕子 株式会社シェイプアップハウス 教育部課長	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	企業
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/info/">https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/info/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/">https://www.miss-paris.ac.jp/osaka/</a>
--